

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月25日

| 1 基本事項 | |
|-----------|--|
| 公の施設の名称 | 相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センター |
| 指定管理者の名称 | 公益財団法人 相模原市まち・みどり公社 |
| 指定期間 | 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで |
| 施設設置条例の名称 | 相模原市立ふれあいセンター条例及び相模原市立相模の大風センター条例 |
| 施設の設置目的 | 市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上に寄与する (相模原市立ふれあいセンター条例第2条) 相模の大風文化の保存、継承を図るとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、もって豊かな市民文化の向上に寄与する (相模原市立相模の大風センター条例第2条) 相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センターは、直営の新磯こどもセンターを併設している。三施設を合わせた複合施設の愛称を「れんげの里あらいそ」とし、各施設が連携を図ることにより世代を超えた交流の場となることを複合施設設置の目的としている。 |
| 施設概要 | 所在地: 相模原市南区新戸2268番地1 構造: 鉄骨造一部鉄筋コンクリート 2階建 面積: れんげの里あらいそ 延床: 3,068.40㎡ 敷地: 5908㎡ 新磯ふれあいセンター 1,610.95㎡ 相模の大風センター 937.82㎡ |
| 施設所管課の名称 | 健康福祉局 保険高齢部 高齢政策課 環境経済局 経済部 商業観光課 |

| 2 管理実績 | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-------------|------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 利用人数 (人) | 新磯ふれあいセンター | | 83,173 | 80,239 | 87,778 | 82,911 | 85,301 | |
| | 相模の大風センター | | 10,929 | 9,794 | 11,723 | 9,162 | 10,262 | |
| | 全体合計 | | 94,102 | 90,033 | 99,501 | 92,073 | 95,563 | |
| 利用料金 (円) | 新磯ふれあいセンター | | 4,158,755 | 4,098,925 | 4,445,460 | 4,615,442 | 4,778,590 | |
| | 相模の大風センター | | 297,490 | 298,820 | 321,015 | 294,355 | 366,860 | |
| | 全体合計 | | 4,456,245 | 4,397,745 | 4,766,475 | 4,909,797 | 5,145,450 | |

| 3 成果指標の達成度 | |
|------------|--|
| 指標名(単位) | 専用利用の利用率 |
| 指標式と指標の説明 | 本年度専用利用率(%) / 専用利用率目標値(%) (専用利用が可能な施設について、どれだけ申込みがあったか) |

| 項目 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標値(%) | | | 50.0% | 51.0% | 52.0% | 53.0% | 54.0% |
| 実績値(%) | | 46.6% | 46.7% | 48.8% | 45.9% | 46.7% | |
| 達成度(%) | | | 93.4% | 95.7% | 88.2% | 88.1% | |

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

| 指標名(単位) | 評価 | コメント |
|-------------|----|--|
| 施設の設置目的の達成度 | C | ・大広間や工作室の夜間利用が少ないことから、成果指標の専用利用の利用率の達成度は88.1%で目標に達成していないため、「C」評価とする。 ・利用人数の年次推移は変動している中で前年度に比べ増加しており、施設の利用料金収入が毎年増加している点は評価できる。今後も、引き続き利用率の向上に向けて取り組んでほしい。 |
| 事業・業務の履行状況 | S | ・施設管理については、適切に実施しているとともに各事業の実施を計画どおり行っており、積極的なPR活動など参加者の増加に向けた努力が認められることから、事業・業務の履行状況は評価基準に基づき「S」評価とする。 ・浴室の利用者は減少傾向にあるが、季節を意識した菖蒲湯や変わり湯等のイベントの開催や、工作室における体験教室を各種開催しているなど、利用者の増加に向けた創意工夫をしている点が評価できる。 |
| 利用者満足度の向上度 | A | ・利用者満足度について、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると、新磯ふれあいセンターは98.4%、相模の大風センターは92.1%で、平成29年度事業計画書で定めた目標値90%に対する達成度が新磯ふれあいセンターは109.3%、相模の大風センターは102.3%であることから、「A」評価とする。 |
| 財務状況の適正性 | S | ・団体の経営状況は安定しており、施設を管理するための十分な資力を有している。 ・資産運用は適切であり、リスクのある投資は少ない。 ・借入金依存度は低率であり、金利負担は僅少である。 ・財務諸表は公益法人会計基準に準拠して適切に作成されている。 |

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S:当該年度の達成度が110%以上
- A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D:当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S:全ての評価項目に「」もしくは「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A:全ての評価項目に「」もしくは「」つき、「」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B:全ての評価項目が「」である。
- C:「」と「」のどちらもつかない項目が1つある。
- D:「」と「」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S:当該年度の達成度が110%以上
- A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D:当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S:評価対象年度の決算における翌年度への繰越金がプラスかつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- A:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- B:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- C:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
- D:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合

客観的評価として以上の基準によりS・A・B・Cを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

| | |
|------|--|
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・年度毎に利用者数の増減が見られるが、Facebook開設などによるPR活動や、利用料金収入が一番多い浴室の利用については季節行事などの積極的な自主事業により、利用者の確保に努めていると認められる。利用料金収入については年々増加傾向にあるが、成果指標としては達成度88.1%となっているため、引き続き利用者増加に向けた創意工夫を図ってほしい。 ・大凧に関する事業については、凧ボランティアへの更なる支援などを行っていくことで、大凧文化の保存、継承の牽引役となってもらうとともに、世代間交流の促進を図ってほしい。 ・満足度調査における満足度は、新磯ふれあいセンター、相模の大凧センターともに高く、目標の90%を達成している。今後も利用者ニーズの把握などにより、利用者満足度の向上に努めてほしい。 |
|------|--|

6 指定管理者選考委員会による評価

| | |
|-------|--|
| 評価実施日 | 平成30年7月25日 |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に利用者増加のために創意工夫し、実際に利用者数や利用料金収入が増加している。 ・高齢者向けの教室や体験会を幅広く行っているほか、利用者ニーズを把握し、積極的に人気のあるイベントを開催することで施設利用増加及びPRに努めていると認められる。引き続き、施設利用率向上に向けて取り組んでほしい。 ・大凧に関する取組において、文化の継承という設置目的から利用者数や施設利用率などの定量的な数値目標が掲げにくいと思うが、広域的PR、他企業とのコラボ等の具体的取組を指標とし、一層集客増加に創意工夫していただきたい。 |